

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／村木雅直
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

目次	経済学部・経済学研究科の近況について	国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5～6
	経済学部長・・・・・・・・・・	資格取得等報奨制度・・・・・・・・・・	7
	データサイエンス学部の教育研究について	報奨金受給者の声・・・・・・・・・・	8
	データサイエンス学部長・・・・・・・・	会計スペシャリスト育成支援制度等	9
	学生活動だより・・・・・・・・・・		

経済学部・経済学研究科の近況について

経済学部長 能登 真規子



能登学部長

後援会の皆様におかれましては、滋賀大学経済学部

の教育研究にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。酷暑の夏も過ぎ、彦根キャンパスは落ち着いたにぎやかさに満ちています。

● 第58回滋大祭

10月最後の週末、秋の滋大祭が開催されました。彦根駅前、講義棟玄関に手作りの看板・横断幕が飾られ、気分を盛り上げます。パンフレットはこの20年のうちにかなり上質な仕様になりましたが、多くの企業・団体、陵水会の皆様にかわいがっていただいているのは相変わらず。ありがたいことです。茶道部

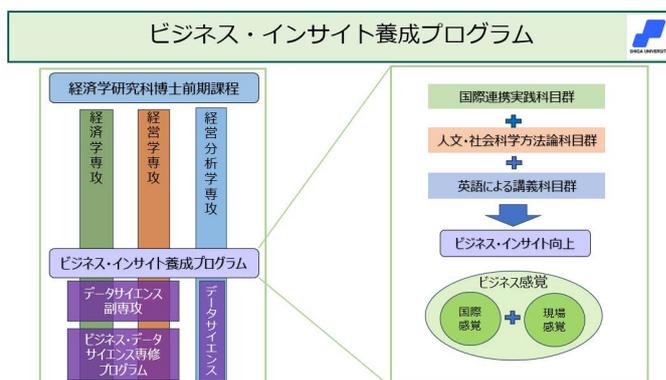
のお茶席に参加し、部活・サークルの模擬店で買い物をし、展示、講演、夜の打上げ花火まで満喫しました。



● 大学院経済学研究科「ビジネス・インサイト養成プログラム」

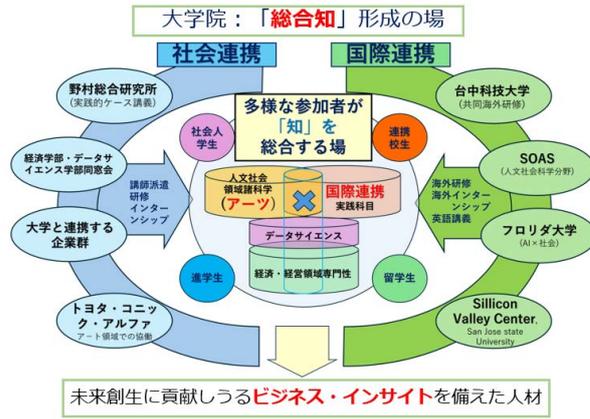
9月初旬、文部科学省の人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業（国際連携型）の募集に対し、経済学研究科が申請した「データ×アーツ×国際連携による新たな総合成プログラム」が採択されました。全国12大学の応募の中から採択は4大学のみですので、快挙です。

プログラムは、英語による講義科目群（6単位以上）、人文・社会科学方法論科目群（6単位以上）、国際連携実践科目群（8単位以上）から構成されています。通常の修了要件との重複もありますので、履修の指針が新設されたものと捉えることができます。



国際連携実践科目としては、経験豊富な実務家教員によるコンサルティングやインターンシップに関する科目を選択できるほか、「海外研修」が必修科目になっています。

台湾の台中科技大学または米国カリフォルニア州のサンノゼ州立大学 (San Jose State University) を中心とした約2週間の研修に参加するほか、自ら研修先を決めて出発し報告書によって単位認定を得ることも可能です。5年の助成期間内はプログラムに参加する院生の海外研修費用への助成もあります。



人文・社会科学方法論科目群も「アート思考ビジネスデザイン特講」「歴史学方法論特講」「経営人類学特講」等、興味深いラインナップになっています。

経済学専攻、経営学専攻の院生だ

けでなく、経営分析学専攻の院生のプログラム登録も可能です。多くの方のご参加を期待しています。

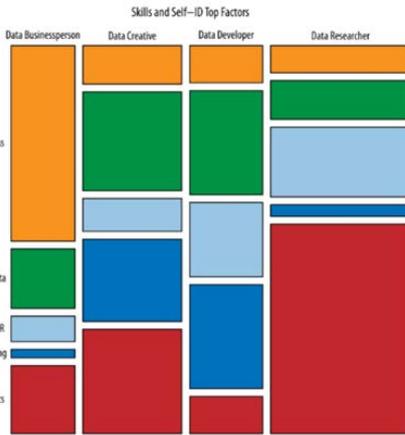
● MBAN

本年2024年4月に発足した経済学研究科の経営分析学専攻(通称MBAN)については、2度の滋賀大学データサイエンスキャンパスフォーラム(6月6日・大阪、10月25日・名古屋)を経て、畑違いの私の理解もようやく少し追いついてきました。MBANは確かにデータ分析の実践が特徴的ではありますが、それだけではなさそうです。

NextRyosui (陵水会OB・OGと現役生をつなぐ学生サークル)主催の滋大祭の講演会で、経済学部OBの越智道夫さん(大47卒)は、データサイエンティストのうちデータ・ビジネスパーソン(図の左端)にとつて重要なスキルはビジネス(図

の一番上、橙色の部分)だと言われていました。この点は滋賀大学の経済学部生の強みです。幅広い専門領域にふれ、各人の興味関心に従って学びを深めてきています。これを基礎に、データサイエンス・コースやMDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度)の応用基礎レベルの指針に沿って統

計学やプログラミング等を修得していけば、未来社会を切り拓く力とすることができるようでしょう。学部在学生のための大学院入試には、一般入試以外に推薦入試、学部と大学院との5年一貫制度もありますので、ゼミの担当教員や入試課等にご相談ください。



図はHarlan Harris, Sean Murphy, Marck Vaisman (2013) Analyzing the analysts, O'Reilly, p.121に載るものです。左からデータ・ビジネスパーソン、データクリエイティブ、データ開発者、データリサーチャーと並んでいます。スキルは上からビジネス(橙)、ビッグデータ(緑)、数学(薄青)、プログラミング(青)、統計(赤)です。

● 専門演習(ゼミ)

経済学部では10月以降、ゼミ関連のイベントが盛況です。テキストや動画でのゼミ紹介のほか、学生達が

「学ゼミ」と呼ぶ対面イベントには31のゼミがブースを設け、340名の2年生が参加したそうです。

10月20日、日本学生経済ゼミナールの第70回インター大会(プレゼンテーション部門)の予選大会がオンラインで開催されました。難関を突破した澤木ゼミ3チーム、吉田ゼミ、佐野ゼミの計5チームが12月8日の決勝大会(東北学院大学、対面発表)に出場します。



この後援会だよりが発行される頃には4年生の卒業論文も大詰めを迎えているはずですが、皆、良い春を迎えられますように。

データサイエンス学部の 教育研究について

データサイエンス学部長 市川 治



市川学部長

「データサイエンス学部の戦国時代ついに始まる」と書くつもり

すぎと言われるかもしれませんが、データサイエンスという名前をつけた学部が毎年増え続けています。これはデータサイエンスが「社会に役立つ学問」「就職に有利な学問」として広く認知されたことの良い表れです。と、同時に地理的に近い場所に競合大学が出現する時代となったわけで、我々はより良い教育を、スピード感を持って提供できるようにするというプレッシャーに日々さらされています。

さて、来年度に向けて新たな選抜方法による入学試験が始まりました。6月には高等専門学校からの編入学試験、9月及び10月には「共通テストを課さない」総合型選抜による試験が実施されました。総合型選抜では女子枠が新設され、また定員

が30人から40人（一般枠20人、女子枠20人）に増えました。蓋を開けてみると、志願者数は大幅に増え、また試験の成績も全体的に向上しています。選抜方法の変更によって、良い効果が表れたと考えています。一般入試では、従来からの選抜方法に加えて、後期試験の一部に共通テストの3教科の成績と面接のみによる新たな選抜方法（定員10人）を実施する予定です。これにより、これまで以上に多様で才能がとがった学生が滋賀大DSに集まってくるのが期待されています。合計の入学定員は従来の100名から、来年度に150名に増えることとなります。

定員拡大に対応して、受験生の確保も重要な点となります。そこで、高校生に対する積極的な広報にも力をいれています。DXハイスクール校（全国で約1100校）を対象に、本学部が作成した「高校生のためのデータサイエンス」という動画教材と、企業でのデータサイエンスの実践を紹介する講座をオンラインで提供しています。また、ビジネスデータサイエンスを紹介するコンテンツの制作、DS学部編著の参考書（「データサイエンスの基本」日本実業出版社）の配布も行いました。この本の執筆にはDS学部の卒業

生が多く含まれていて、在学中に行ったデータ分析の例が紹介されています。また、ユニークな取り組みとしては、在学生が夏休みに地元を母校を訪問して、滋賀大学の紹介をする活動も行っています。これまで30人以上の在学生が参画してくれました。

学部教育の現状としては、新しい領域への展開を紹介したいと思っています。まず生成AIへの対応としては、昨年度にDS特論Bとして「生成AIの理論と活用」を他大学に先駆けて開講しましたが、今年度はこれを一般科目として開講いたします。また、文科省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度で、+（プラス）認定されている科目群についても、自身の更新を行い生成AIに対応しました。それに対応する教科書も出版しています。また、昨年度より、マテリアルサイエンスやソーシャルネットワーク分析に関する特論講義も開講しています。さらにアートとデータサイエンスの融合にも力を入れ始めています。今年度は国立音楽大学との連携イベントが開催され、両校の学生が混成のチームを作って、AI作曲や楽曲推薦の課題に取り組む活動が行われました。

大学院での教育に関連して、定員増による教育の場の変化について紹介したいと思います。本年度は51名の学生が博士前期課程に入学しました。51名の内訳は、約4割が派遣社会人、他大学からの入学者も10人程度おります。年齢層もバックグラウンドも幅広く、本学の特徴のひとつかと考えています。多様性を持つ集団が同じ場で学ぶことによりお互いが刺激しあえる環境が提供できているのではないかと自負しております。例年、入学式後の最初の週に自己紹介を兼ねて研究計画の紹介をしてもらっています。各自が5分ほどで発表してもらおうのですが、入学生の多様さを反映して研究テーマもマーケット分析から気象データ分析まで様々な内容があり、データサイエンス分野の守備範囲の広さを感じているところです。講義の時間が終わった後でも何人かの学生が残って議論している様子が見られるなど学生はとても熱心です。今年度からは一部の講義でMBANの学生も合流しており、密度の高い議論ができています。

【執筆協力：佐藤健（副部長）、佐藤正（副学部長）、椎名副学部長、飯山研究科長】

学生活動だより

滋賀大学学長賞

7月26日、彦根キャンパスにおいて、令和6年度第1回滋賀大学学長賞授与式を挙行しました。学長賞は、学業、課外活動、文化・社会活動等で顕著な業績、成果を挙げた学生等を表彰するものです。

授与式では、学生支援課から選考結果の概要について説明があり、竹村彰通学長から今回受賞の2組に表彰状と盾、副賞が授与されました。授与の後、学長から祝辞があり、日頃練習を重ね大きな成果を上げたことに対して労いの言葉がありました。続いて、受賞者からそれぞれ謝辞が述べられました。

授与式後は、学長と懇談の場が設けられ、プロジェクトNatureからは環境啓発のための学童訪問の様子について、漕艇部からはニュージラードでの大会の状況等について説明があり、和やかに懇談が行われました。

受賞理由は以下のとおりです。

プロジェクトNature（経済学部）

- 令和5年度の学生自主企画プロジェクトとして実施
- びわ湖東北部地域連携協議会事業として実施
- 環境啓発イベント「びわこネイチャーフェスティバル」の開催
- 彦根市内の学童を訪問し、環境問題への啓発
- 令和5年度の学生自主企画プロジェクト最優秀賞
- 京都新聞への掲載及びFM大阪の出演
- 西村菜々花さん・鉄藤蓮さん（漕艇部）
- 2024 Aon NZ University Rowing Championships
女子ダブルスカル 優勝
女子舵手なしペア 優勝
- 第102回全日本ローイング選手権大会
女子ペア 準優勝



竹村学長と記念撮影

滋和戦

6月22日、23日を中心に、第57回滋賀大学・和歌山大学二大学学長杯争奪総合定期戦が開催されました。この定期戦は本学と和歌山大学の課外活動の健全な発展と大学相互間の友情・親睦を深める目的で昭和41年から開催されています。今年度は本学が会場となり、両者拮抗の白熱した戦いが繰り広げられました。

22日に行われた開会式では、本学の竹村彰通学長が式辞、和歌山大学の本山貢学長が祝辞を述べられました。続いて、昨年度勝利した和歌山大学体育会による優勝杯の返還が行われ、その後両大学団長である和歌山大学の野村孝徳理事、本学の渡部雅之理事より、激励の言葉が送られました。

両日とも生憎の天気でしたが、安定しない天候の中でも各部活對抗戦として全力でぶつかり合う姿が印象的で、コロナ前の活気ある課外活動の雰囲気を感じ取ることができました。連敗を阻止したい本学は一丸となって臨みましたが、最終的には和歌山大学が14勝7敗8分で勝利し、8年連続の総合優勝を飾りました。23日に行われた閉会式では、お互いの健闘を称えあい、今後も良きライバル校として、両大学の交流が一層深まることが期待されました。（通算成績は滋賀大学の31勝23敗3引分け）

来年の和歌山大学開催での勝利を目指し、各部活がより一層練習に励むことを望みます。

第57回滋和二大学学長杯争奪総合定期戦 成績表

令和6年6月22日～23日 於 滋賀大学

	滋賀大学		和歌山大学	
	勝負	得点	勝負	得点
合気道	△	1	△	1
アメリカンフットボール	△	1	△	1
空手道	○	2	×	0
弓道(男子)	○	2	×	0
弓道(女子)	×	0	○	2
剣道(男子)	×	0	○	2
剣道(女子)	×	0	○	2
硬式庭球(男子)	○	2	×	0
硬式庭球(女子)	×	0	○	2
硬式野球	△	1	△	1
サッカー	○	2	×	0
柔道	×	0	○	2
準硬式野球	△	1	△	1
少林寺拳法	△	1	△	1
水泳	×	0	○	2
ソフトテニス(男子)	×	0	○	2
ソフトテニス(女子)	×	0	○	2
卓球(男子)	×	0	○	2
卓球(女子)	×	0	○	2
男子バスケットボール	○	2	×	0
女子バスケットボール	×	0	○	2
バドミントン(男子)	×	0	○	2
バドミントン(女子)	×	0	○	2
男子バレーボール	○	2	×	0
女子バレーボール	○	2	×	0
男子ハンドボール	△	1	△	1
女子ハンドボール	△	1	△	1
ラグビー	×	0	○	2
陸上競技	△	1	△	1
総合	7勝14敗8分	22	14勝7敗8分	36

【注意】○:勝ち…2点 △:引き分け…1点 ×:負け…0点

滋大祭

10月26日～27日の2日間、58回目となる「滋大祭2024」を彦根キャンパスで開催しました。今回の滋大祭は春の滋大祭よりも大規模な開催となり、多くの学生団体・地域住民の方にご参加いただきました。

今回の滋大祭実行委員は「紅蘭紫菊」をテーマに掲げました。紅蘭紫菊とは、春の滋大祭のテーマであった桜梅桃李に続く成句で、それぞれの花がそれぞれ自分らしい花を咲かせることから、他人と比べることなく自分自身を磨くことが大切だという教訓を含んだ言葉です。

当日はキャンパス内の各所で模擬店やフリーマーケット、ステージイベント



生協前広場



お化け屋敷の様子

トや教室展示を企画し、学生だけでなく地域の方々にも楽しんでいただけるよう工夫しました。また、滋賀大学公式キャラクターである「カモンちゃん」や、彦根市ゆかりの「ゆるキャラ」たちも登場しました。

今回の滋大祭のハイライトは初日の中夜祭で実施した打ち上げ花火です。初日の最後を飾るに相応しい迫力と美しさで来場者を魅了しました。

滋大祭実行委員を始め、多くの学生団体の活躍と地域住民のご協力により、今回のイベントを成功裏に終えることができました。関係者の方、ご来場いただいた方に厚くお礼申し上げます。



サンジョセ州立大学で記念撮影

2024年8月5日～16日、シリコンバレーの中心に位置しているサンノゼ州立大学において「2024 Silicon Valley Innovation & Startup Program」の研修を実施しました。この研修には、滋賀大学の経済学部学生18名、DS学部学生1名、経済学研究科大学

国際交流

シリコンバレー研修



グループワークの様子

院生1名の20名が参加し、AI、データサイエンス、イノベーションやスタートアップについて学びました。

研修は、サンノゼ州立大学の Silicon Valley Center of Operations and Technology Management で実施され、AIやアントレプレナーシップなどの専門家、シリコンバレーで起業、経営しているCEOなどが講師として学生を指導しました。参加学生は6チームに分かれて商品開発と起業を目指したプロジェクトに取り組みました。最終日には、イノベータータイプな商品やサービスをチーム全員で協力して作り、それを商品化するというプロジェクトをプレゼンテーションしました。

起業と資金調達を想定したプレゼンテーションは、今後社会で活躍する学生にとってはかけがえのない有益な経験でした。

また、シリコンバレーの企業文化を理解するためのカンパニーツアーを行い、Intel、Google、Apple、Teslaなどの企業を訪問して、これらの設立背景や成長過程などについて学びました。サンフランシスコ観光では、Golden Gate Bridge、De Young博物館、美術館などを観光しました。自由時間である土曜日と日曜日には、スタンフォード大学を訪問したり、サンフランシスコでケーブルカーに乗ったり、ウォルトディズニーフアミリー博物館を訪問したりしました。

プログラムの内容は、シリコンバレーならではのものが多く、参加学生にとって非常に有益なものでした。学生からは、これからの大学での勉強はもちろん、社会人として欠かせない知識と経験を得ることができたこと、非常に高い評価と満足度を得ました。

後援会からも渡航費用の一部をご支援いただいたことに感謝申し上げます。

**ICBIR2024
Best Paper Award 受賞**

データサイエンス研究科

博士前期課程2年 戸簾隼人

この度、タイ・バンコクで開催された国際会議「2024 9th International Conference on Business and Industrial Research (ICBIR2024)」において、私が投稿した論文が「Best Paper Award」を受賞いたしました。

当該論文では、スポーツサイクリングの安全性向上を目的に、インターネット上から取得したサイクリングルートの路面画像を分析し、危険な物体や路面状況を検出するシステムを開発しました。さらに、現在はIoTやウェアラブルデバイスを活用して、スポーツサイクリングをより安全にするための研究開発を進めています。これらの技術により、安心して自転車を利用できる社会の実現に寄与できればと考えています。

本研究は、私の元々の専門分野である応用微生物学とは全く異なる、データサイエンスや情報学の領域での研究でした。ビッグデータの取得

から効率的な画像処理、複数のアルゴリズムの組み合わせなど、新たな分野での発見を重ねることは非常にやりがいがありました。そのためには多くの時間と努力が必要でした。特に苦労した点は、異分野間の研究文化や慣習の違いを理解し、それに適応することでした。しかし、この過程で得た学びが、今回の研究成果につながったことは、非常に意義深いものだと感じています。



今後の目標は、アカデミアとビジネスの両方のスキルや経験を持つ、研究者・コンサルタントとして成長することです。そのため、博士後期課程に進学し、引き続き研究を追求するとともに、データサイエンスの分野に精通し、企業や行政、研究機関と連携しながら、実際の社会問題を解決するための技術開発に貢献したいと考えています。



左から 戸簾さん、Ruttikorn Varakulsiripunthさん (General Chair)、義久教授

本研究を進めるにあたり、様々な点でご指導いただいた指導教官の義久智樹教授、そして共著者の皆様から感謝申し上げます。この度の受賞を励みに、さらなる成果を目指して努力してまいります。

資格取得等報奨制度

「後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的として、平成26年10月に創設され、その後、データサイエンス学部の設置等に伴い、対象試験等の一部を改正しています。

今年度（令和5年4月から令和6年3月受理分）は、下表の通り、71件に対して給付されました。

学生からはステップアップのための資金にしたいとの頼もしい声がかれ、今後も、多くの学生諸君から応募していただけるよう願っています。

また、学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ご覧いただいた上で、お子様にお伝えいただきたく存じます。

今後、より良き制度に改善して行きたいと考えておりますので、会員の皆さまからも是非ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

令和6年度 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度給付一覧

(令和5年4月～令和6年3月末日までの受理分)

(令和6年7月役員会審査分)

分類	サポート対象事項	基準	報奨額 (円)	給付 件数	給付者氏名(敬称略) (回生は申請時)
資格・認定試験	1. 日商簿記検定試験	「1級」合格者	70,000	5	・木原大輝(経済学部4回生) ・片山みずほ(経済学部4回生) ・山本祐正(経済学部4回生) ・河合咲依(経済学部2回生) ・鈴木智大(DS学部4回生)
	2. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、 いずれか1科目合格者	30,000	2	・横田寛也(経済学部2回生) ・勝島和希(経済学部1回生)
		2科目同時合格者	50,000	1	・富安悠平(経済学部4回生)
		②税法科目から、いずれか1科目 合格	40,000	0	
	3. 公認会計士試験	「短答式試験」合格者	50,000	4	・山本祐正(経済学部4回生) ・浅見若菜(経済学部3回生) 他2名
		「論文式試験」合格者	100,000	3	・片山みずほ(経済学部4回生) 他2名
	4. 中小企業診断士	「2次試験」合格者	50,000	0	
	5. 証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000	3	・水川景策(経済学部4回生) ・伊藤涼月(経済学部2回生) 他1名
		「第2次レベル試験」合格者	40,000	2	・水川景策(経済学部4回生) 他1名
	6. データベーススペシャリスト試験	合格者	50,000	1	・喜屋武奏汰(DS学部4回生)
7. 品質管理検定	「1級」合格者	50,000	0		
	「1級」の「統計数理」、「統計 応用」いずれか1科目合格者	50,000	0		
	「1級」2科目目合格者	20,000	1	・相良健太郎(大学院DS研究科博士前期課程2回生)	
8. 統計検定	「準1級」合格者		30,000	17	・高津勇知(DS学部4回生) ・大下真之介(DS学部4回生) ・加田光輝(DS学部4回生) ・近藤航平(DS学部4回生) ・高橋昂希(DS学部4回生) ・信時玲子(DS学部4回生) ・前田光善(DS学部4回生) ・大橋東堂(DS学部3回生) ・坂野慶一(DS学部2回生) ・野田一博(DS学部2回生) ・福留賢(大学院DS研究科博士前期課程2回生) 他6名
語学試験	9. TOEIC(公開テスト)	800点以上	30,000	19	・和田武希(経済学部4回生) ・源本今日子(経済学部3回生) ・高田元貴(経済学部4回生) ・押谷友暉(経済学部3回生) ・早野修作(経済学部3回生) ・山際佑季(経済学部3回生) ・田里優加子(DS学部4回生) ・土井秋穂(DS学部4回生) ・信時玲子(DS学部4回生) ・高三和己(大学院DS研究科博士前期課程2回生) 他9名
		900点以上	50,000	9	・桑原瑞樹(経済学部4回生) ・小林大起(経済学部3回生) ・嶋津怜奈(経済学部3回生) ・武田実子(経済学部3回生) ・待山修平(経済学部3回生) ・茨木考大(経済学部3回生) ・葛山政亮(経済学部3回生) 他2名
	10. 英語以外の外国語検定	スペイン語検定(DELE)B1以上	30,000	1	・北村瑞衣(経済学部4回生)
留学	11. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の課水会「グローバルリー ダー育成」課水奨学金受給者は除く)	アジア圏	40,000	0	
		その他	80,000	0	
その他	12. その他	ウインドサーフィン世界選手権 優勝	-	1	・片山好人(経済学部4回生)
		学会発表 優秀研究賞	-	1	・加藤駿典(大学院DS研究科博士前期課程2回生)
		中小企業診断士	-	1	1名
計				71	

注1.) 給付者氏名については、氏名を公表することの承諾を得た学生の方のみ記載しています。
注2.) 英語以外の外国語検定に関しては申請のあったもののみ項目掲載しています。

報奨金受給者の声

『公認会計士短答式試験及び日商簿記検定1級合格』

経済学部 4回生 山本祐正



私は、公認会計士短答式試験及び日商簿記検定1級に合格しました。

公認会計士短答式試験に合格できたのは、継続力と強い意志があったからです。当該試験は論文式試験も含めると約2年の長期戦となることから継続力が重要になります。そこで私は、1日の流れを全て習慣化及び記録することを意識しました。具体的には、起床時間、食事、休憩中の音楽と運動、就寝時間を固定することでモチベーションに左右されず毎日を過ごすことに成功しました。また勉強時間を記録するアプリや手帳、日記をつけることで日々の成長を可視化できるようにしました。

継続力の源泉は強い意志です。私は、大学受験で悔しい思いをした経

験から、この経験を糧に勉強では後悔しない人生を送ると決心していました。辛いことは沢山ありましたがそれを乗り越えてこそ過去の経験に意味を持たせるという思いで日々を過ごすことが合格に繋がったと確信しています。

現在(2024年9月)は論文式試験を終え、合格発表待ちの状態ですが、合格は始まりに過ぎません。合格後は監査法人に入所し、様々な人との出会いや実務経験を通じて公認会計士として信頼される努力と知識の蓄積を続けていきます。

『証券アナリスト試験 1次試験合格』

経済学部 3回生 伊藤凜月



私は、昨年6月に証券アナリスト試験1次試験に合格しました。

証券アナリスト試験は、証券分析・財務分析・経済分析の大きく分けて3つの科目で構成されています。私は、金融に興味関心があったため、

1回生の6月に証券アナリスト試験の受験を決めました。勉強を始めた当初は、金融・経済・会計に関する知識が全くなかったため、馴染みのない専門用語や実務に関する内容の理解に苦労しましたが、少しずつ理解を深めていきました。また、滋賀大学では、実務経験のある先生方による証券アナリスト試験をベースとした授業や証券アナリスト協会寄附講座が開講されていたため、勉強の大きな助けとなりました。資格勉強を通じて、経済学・会计学・ファイナンス・統計学を総括して学ぶことができ、証券アナリスト協会寄附講座や資格取得報奨金制度等により大学在学中は挑戦し易い環境が整っていると感じたため、興味のある方は挑戦してみると良いかと思います。

私は現在、証券アナリスト資格に加え公認会計士資格の取得を目標としています。将来は、身につけた知識を活かし企業の資金調達支援に従事し、企業の成長を通して経済社会の発展に寄与したいと考えています。

資格試験 豆知識

【公認会計士】

公認会計士とは、監査・会計の専門家であり、独占業務である、監査等を行う。

公認会計士は弁護士や医師と並ぶ三大国家資格と言われるほどの難関資格。

短答式試験、論文式試験に合格した後、実務経験と実務補習所での必要単位取得、修了考査の合格により公認会計士に登録できる。

【日商簿記検定】

高度な会計知識を有し、経営管理や分析を行う能力が必要とされる。日商簿記1級を取得することが、会計系上位資格(税理士、公認会計士)への登竜門とされる。

【証券アナリスト試験】

証券アナリストとは、金融・投資のプロであり、情報収集や投資価値の分析・評価を行う。

受験には、公益社団法人日本証券アナリスト協会実施の講座を受講する必要がある。受験年度の翌年度から受験可能。すぐ受験できないので注意が必要。

会計スペシャリスト 育成支援制度

本制度は、将来の進路として税理士又は公認会計士の資格を有する高度専門職業人（会計スペシャリスト）を目指す意欲のある学生を対象に、専門学校、資格取得の専門予備校等での税理士又は公認会計士の資格対策講座の受講（ダブルスクール）に要する経費を援助する制度です。

本制度を利用した皆さんが切磋琢磨し、将来の夢を実現するための一助となることを期待しています。

対象者、申請期間、申請方法などの詳細は、後援会HPから申請要項をご確認ください。

（QRコード・URLはページ末尾の編集後記に記載）



自転車の空気入れ

本学は、自転車通学の学生が多く、要望の多かった電動空気入れを、後援会から寄贈することになりました。



自転車空気入れ（AS-100A）



1. タイヤのバルブの黒いキャップを外します。
2. エアーステーションの金具を、タイヤのバルブにセットします。
3. エアーステーションのボタンを押せば空気が入ります。

ボタンを離すと、空気が止まります。
タイヤを強く押してみても、ちょっとへこむくらいで空気入れ完了となります。
まだ足りないかな？と思ったら、少しずつボタンを押してちょうどよいところまで空気をいれてください。

現在、彦根キャンパス正門守衛所付近に、据え置き型自転車用・電動空気入れの設置に向けて、準備中です。

資格試験 団体受験

入学時に納入された諸経費の内訳をご存じでしょうか？

経済学部では、TOEIC・IP（4千円）、DS学部では、TOEIC・IP（4千円）と統計検定（3千円）の受験料が含まれています。個人で申し込んで受験するより安く受験することができます。大学からの案内に従い、必ず受験するようにしましょう。

統計検定

統計に関する知識や活用力を評価する試験です。

準1級合格から後援会資格取得等報奨制度の対象です。（準1級合格は3万円）

TOEIC (IP)

IP試験は公開テストとは異なり、過去問が再利用されています。公式認定証は発行されません。自分の実力確認にご活用ください。

後援会資格取得等報奨制度は、TOEIC公開テストのみを対象にしています。

編集後記

後援会だよりは次のURL・QRコードでもご覧いただけます。

<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters/31/>



後援会だよりの記事についての感想や要望、後援会に対する要望、ご意見等を左記の受付フォームよりお聞かせください。

<https://forms.office.com/r/m83b4y1XDM>

